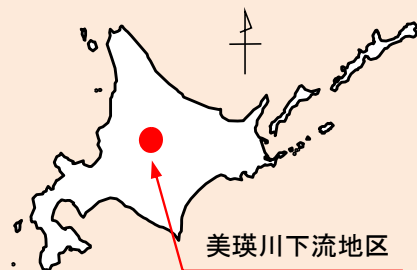


国営かんがい排水事業

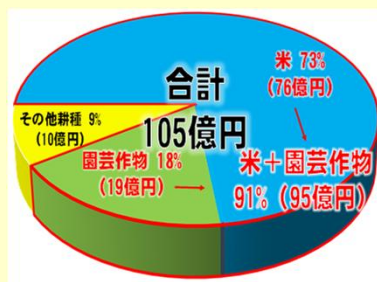
美瑛川下流地区



地域の概況

本地域は、水稻及び野菜を主体とした営農を展開。旭川市は道内有数の野菜産地であり、施設野菜としてトマト、メロン、レタス等多品目を生産。

旭川市の農業産出額



資料：農林水産統計年報(R5)

旭川市の米の作付面積は全道1位。米と園芸作物の割合は91% (95億円)

ブランド化 高付加価値化



メロンは「神居王妃」のブランドとして販売

加工用野菜の出荷



冷凍かぼちゃ

かぼちゃは市内の加工工場へ出荷、冷凍かぼちゃ等として全国へ流通

輸出の取組



輸出専用パッケージ

米は、ホクレン経由も含め台湾、香港などアジア圏へ輸出、現地のスーパーなどで販売。

地区の現状と課題

経年的な施設の劣化により管水路の漏水事故が発生、農業用水の安定供給に支障を来し、農業用水の確保に労力を要しているとともに、施設の維持管理に多大な費用を要している。

また、地区の一部では営農の変化に伴い水需要が変化しており、近年の営農に対応した用水手当が必要となっている。

さらに、必要な耐震性を有していない神居ダム附帯施設の耐震対策が必要となっている。

管水路の漏水



道路の冠水



供給停止による用水手当

漏水事故により施設の用水確保の労力増大や維持管理に多大な費用が発生。

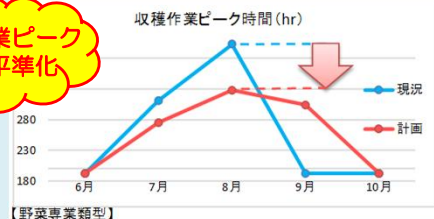
漏水により公道の通行止が発生。

生産拡大に向けた用水確保

作物かん水期間 例：レタス

区 分		7月	8月	9月
現況 (神居、共有地)	作業	定植	収穫	
	かん水	7/11		8/31
計画 (全区域)	作業	定植	収穫	
	かん水	7/11		9/20

収穫作業ピーク時間の平準化



園芸作物は収穫期に労力を要する。作付け拡大に向けては、収穫作業ピークを平準化し、用水期間の延長が必要。

施設の耐震不足



取水塔



管理棟

神居ダムの附帯施設（取水塔、管理棟）は耐震性を有しておらず、大規模地震による倒壊のおそれあり。

用水を安定供給し、食料安全保障を確保するためには計画的な事業の実施が必要

事業の目的

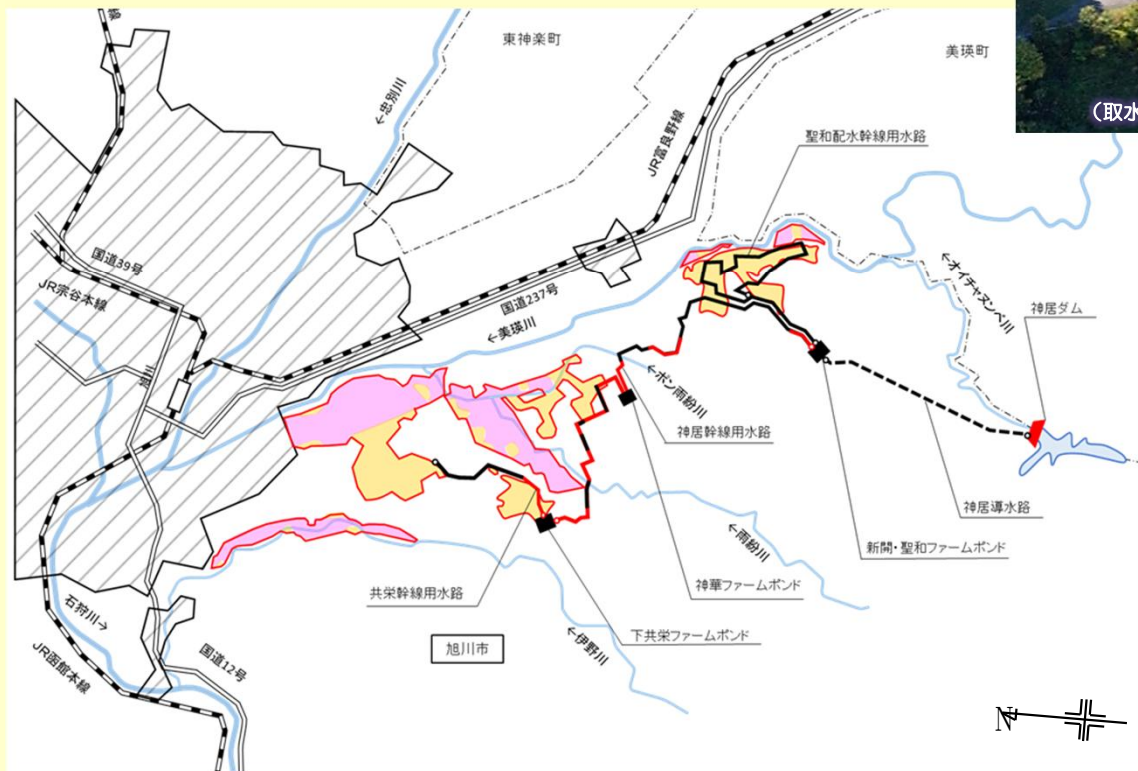
本事業では、用水路及びダム附帯施設の改修と水需要の変化に対応した用水再編を行うとともに、ダム附帯施設の耐震化を一体的に行うことにより、**農業用水の安定供給と維持管理の軽減を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定を図るもの。**

事業計画概要

受益面積 : 771ha (田451ha、畑320ha)
 関係市町 : 旭川市
 事業工期 : 令和8年度～
 主要工事計画 : ダム(改修) 1箇所
 用水路(改修) 3条 L=7.0km



神居ダム
(取水放流設備の改修、耐震化対策等)



凡 例	
	用水改良
	水 田
	普通畑
	ダム(改修)
	用水路 管水路 (改修)
	用水路 管水路 (既設・弁のみ改修)
	用水路 トンネル (既設利用)
	ファームボンド (既設利用)
	市町村界
	市街化区域

事業の効果

用水施設の改修及びダム附帯施設耐震化による用水の安定供給



用水路の整備
(イメージ)



ダム取水施設の改修及び耐震化

用水施設の改修及びダム取水棟などの耐震化により、**農業用水の安定供給と維持管理の軽減**を行う。

産地収益力の向上と食料安全保障への寄与



園芸作物の生産拡大により生産額の向上が見込まれることで**産地収益力の向上**が実現。

加工品は、道内だけでなく**全国へ供給**しており、引き続き安定供給することで**食料安全保障へ寄与**。

国土強靱化への寄与



神居ダムはR2年に治水協定を締結。下流に旭川市街地があるためダム耐震化は**国土強靱化の観点で重要**。